わたり議会だより

平成24年5月1日
115号
2012

3月定例会

平成24年度事業スタート ―― 2
復興事務の早期推進　4課を新設 ―― 8
町政のここが聞きたい〈14人が一般質問〉 ―― 12

アンサンブル亘理えむ　ハーモニカ演奏（舘南集会所）

一般会計

復興事業含めて 予算総額607億円

3月定例会は3月2日から3月19日までの18日間の会期で開催されました。

町から提出された議案は、平成24年度一般会計予算など32件で、いずれも慎重審議の結果すべて原案どおり可決しました。

一般質問では14人の議員が町の考えを質しました。

当初予算概要説明

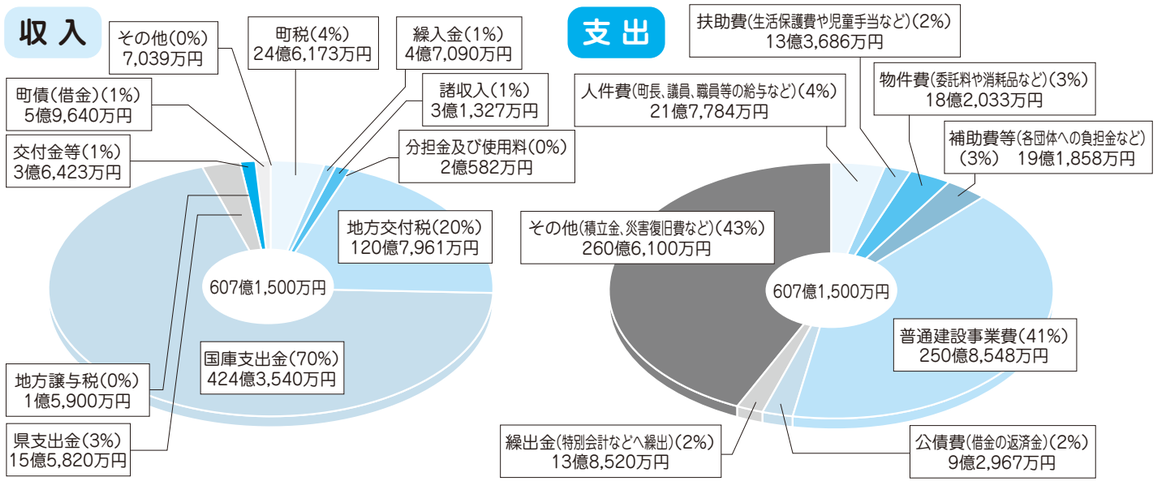
平成24年度の一般会計当初予算は、東日本大震災の復旧・復興経費を計上したことにより、通常年度の予算の6倍に当たる607億1500万円が予算計上されました。

主な事業としては災害廃棄物処理事業が253億5917万円、亘理町いちご団地造成事業154億円、災害公営住宅整備事業費で61億498万円となっています。国や県からの支出金を有効活用し、一般財源からの持ち出し分を最小限度に抑えた予算となっています。

会計名		予算額	対前年比
一般会計		607億1,500万円	519.4%
特別会計	国民健康保険特別会計	40億1,832万円	2.0%
	奨学資金貸付特別会計	1,004万円	▲19.0%
	公共下水道事業特別会計	16億1,149万円	▲1.1%
	土地取得特別会計	510万円	▲0.6%
	介護保険特別会計	22億2,802万円	1.4%
	わたり温泉鳥の海特別会計	3億7,591万円	▲9.0%
	後期高齢者医療特別会計	2億9,704万円	6.3%
	工業用地等造成事業特別会計	1億1,320万円	▲88.1%
水道事業会計	収益的支出	8億 556万円	▲0.9%
	資本的支出	3億6,746万円	▲1.2%

震災関連予算	516億3,274万円
災害復旧費	257億 918万円(49.8%)
農林水産業費	172億1,908万円(33.3%)
土木費	80億2,563万円(15.5%)
民生費	3億6,748万円(0.7%)
総務費	1億1,900万円(0.2%)
商工費	9,644万円(0.2%)
教育費	7,806万円(0.2%)
衛生費	1,415万円(0.0%)
消防費	368万円(0.0%)

平成24年度 一般会計予算額



総括質疑

予算審査を特別委員会に付託する前に4人が総括質疑を行いました。

鈴木高行議員

花いっぱい運動のあり方は

問 行政区や学校、公園等で花いっぱい運動を長年実施してきたが、近年色あせてきた。目的である地域の融和、世代間交流、町のイメージアップのため、今後どのように事業を展開するのか。

町民生活課長 協力団体に花苗を配布し、植栽と維持管理も含めた活動を行います。今後5地区のまちづくり協議会と連携して事業を推進していきます。

老人クラブの生きがい対策について

問 高齢者の趣味も多種多様になり、各人がサークル活動を通して楽しんでいる。これらを包括した老人クラブ組織にして、多くの方々が参加できる事業を検討しては。

保健福祉課長 会員の加入促進の観点から、単位老人クラブの中で分科会的に、趣味の部会を導入するよう連合会と相談して検討します。

小野一雄議員

繰越し事業で町民へのサービスは

問 平成24年度に繰越した事業の理由は何か。

企画財政課長 1つ目が各省庁の災害査定実施が遅れていること。2つ目が災害復旧事業を優先したこと。3つ目が震災に絡む国の予算を23年度で予算措置をしなければならないことが挙げられます。

問 町民へのサービス低下についてはどうか。

総務課長 多様化する行政サービスに対応するため、19部署から23部署に機構改革し、町民へのサービス向上に努めます。

鞠子幸則議員

一般会計の重点事業は

問 平成24年度一般会計予算について、震災関連事業分、通常事業分のそれぞれの重点事業は何か。

企画財政課長 震災関連事業分は、災害廃棄物処理費が253億5916万円。イチゴ団地造成事業費が154億円。災害公営住宅整備事業と災害公営住宅駐車場整備事業で62億4247万円です。

通常事業分は、各種予防接種、各種検診事業で1億8479万円。地域コミュニティー形成のためのまちづくり協議会支援事業費が4950万円です。

島田金一議員

大震災復興特区を積極的に活用しては

問 町において復興特区申請がなされていないのではないか。

震災復興推進課長 復興に寄与する事業や被災者雇用等を行う場合、復興特区施行規則で県・市町村の指定を受けると、税制上の特例措置が受けられます。町においては工場立地に係わる緑地等の規制緩和に対する特例等、企業が進出できるよう準備をします。

問 震災発生時からの初動期一ヶ月の記録を残して次期防災計画に生かしてはどうか。

総務課長 震災発生時の災害対策本部には正式な記録文書を作成する時間はありませんでした。

3月16日からの災害対策本部会議の内容は記録されていますが、各部局からの報告のみで正式な記録文書とは言えないので、今後職員等から聞き取り調査をし、取りまとめていきます。

平成24年度予算 各事業を徹底審査!!

３月定例会は予算審査特別委員会を設置し、平成24年度各種会計予算を審査しました。

関係課長や担当者に出席を求め、質疑等を行い、慎重に審査した結果、各種会計すべて「原案のとおり可決する」ことに決定しました。

ここでは主な事業の質疑を紹介します。

収入は確保できるのか!!

【町税】

鞠子幸則議員　町民税が前年度と比較して減っている理由は。

税務課　23年度は減免条例により、被災の程度によって全額から8分の1まで減額しました。24年度は雑損控除（家屋、家財、車両等の損害）が個人住民税に反映されることから減収となります。

【保育料】

鞠子幸則議員　保育料を滞納している方は、新制度の児童手当から、特別徴収するのか。

保健福祉課　事前に保護者等と面談をして、了承していただいて徴収することになります。

【被災者支援】

鈴木高行議員　被災地域健康支援交付金の使用目的は。

保健福祉課　仮設住宅や民間アパートで生活している被災者の心のケア、健康支援のために保健士や看護士等のマンパワーを確保する事業です。

【イチゴ団地】

佐藤正司議員　イチゴ団地造成事業交付金115億円と農業機械、施設整備約7億円の内容は。

産業観光課　復興計画にある浜吉田イチゴ団地40㌶、開墾場イチゴ団地20㌶、鳥屋崎団地16㌶の造成とハウス施設と穀物乾燥機7基、コンバイン10基等のミニライスセンター整備費です。

議会費　1億3,240万円の内訳をお知らせします

内　　訳	今 年 度
議員報酬（18人）	5,624万円
議会事務局職員給与（３人）	1,154万円
議員・職員期末手当等	2,318万円
議員・職員共済負担金等	3,645万円
議会費用弁償、視察調査等	157万円
交際費（議会からの慶弔費など）	48万円
議会だより印刷費、事務費	169万円
会議録委託料	102万円
負担金補助及び交付金	14万円
その他（報償費、役務費、使用料など）	9万円

生活環境のまちづくり

主な使い道

- 災害廃棄物処理事業　253億6,000万円
- 亘理名取共立衛生処理組合ゴミ処理・し尿処理事業分担金　3億7,270万円
- リサイクル奨励金交付事業　384万円
- 公害対策事業　252万円

高野孝一議員　行政区の分区、合併について行政指導をしないのか。

企画財政課　地元の考え方を最優先、成案を待って協議していきます。

小野一雄議員　まちづくり協議会の委託料と適正な予算の使途について。

企画財政課　亘理地区1056万円、荒浜地区1015万円、吉田西部地区950万円、吉田東部地区889万円、逢隈地区1038万円です。

また、町では疑問視されるような予算の執行には各協議会の事業内容等も十分精査します。

鞠子幸則議員　亘理町の緊急防災・減災事業はどうなっているのか。

企画財政課　防災無線のデジタル化、指令センターの事業を行政事務組合の方で進めております。

高野孝一議員　LEDの防犯灯の工事の状況は。

総務課　新設67灯、移設1灯、本体の取替・撤去もあり全部で81ヶ所です。

鞠子幸則議員　公害対策、特に有害物質の流出、放置物の処理については。

町民生活課　県は不明な流出物、有害物の保管状況の把握に努めており、県より特別の指示はありません。

小野一雄議員　ゴミ集積所の建設補助金が30万円である。どこに設置する予定か。

町民生活課　年度中に要望がある箇所への補助金です。

亘理名取共立衛生し尿処理センターの復旧

教育・文化のまちづくり

主な使い道

- 小学校施設整備事業経費　1,447万円
- 中学校施設整備事業経費　1,410万円
- スクールバス運行事業費　1,814万円
- （仮称）復興マラソン大会開催事業　648万円

鞠子幸則議員　長瀞小学校2年生の一クラスの人数は。

学務課　37人です。4月時点で35人を超えるようであれば2学級に編成します。

鈴木高行議員　仮設住宅に住んでいて、来年就学する児童の住所が荒浜・吉田東部にある場合、亘理・吉田小学校を選択することが認められている。どのように指導したか。また保護者との面談は行ったか。

学務課　荒浜・吉田に住所があればその学区での案内をしましたが、臨機応変に対応しています。特別に相談が無ければ面談はしませんでした。

震災後で事務的なものやいろいろな問題を抱えており、親切な行政のやり方という点から言うと反省しなければなりません。

小野一雄議員　スクールバス運行業務委託業者は。

学務課　町内・町外それ

次頁に続く

ぞれ一業者と町のバスで運行しています。地元業者育成の観点から言うと町業者にお願いすべきですが、今回通販の「ニッセン」から寄贈されるマイクロバスを活用し、これまで通りで運行する考えです。

熊田芳子議員　AEDの設置箇所が各学校によってさまざまである。場所を決め、分かりやすい表示をするべきではないか。

学務課　学校に指導していきます。

鞠子幸則議員　学校給食の食材の放射能検査機器購入の考えは。

給食センター　4月1日からの国の基準に対応できる測定器を購入します。

安藤美重子議員　復興マラソン大会の事業内容は。

生涯学習課　被災した荒浜を走るコースで11月頃に開催したいと考えています。

通販の「ニッセン」から寄贈されたスクールバス

保健福祉のまちづくり

主な使い道

- 地域支え合い体制づくり事業（園芸療法）　3,720万円
- 子どものための手当等支給経費　5億7,984万円
- 仮設住宅等入居者健康支援事業費　734万円

鈴木高行議員　地域支え合い体制づくり園芸療法事業の3700万円の内容と効果について。

産業観光課　仮設住宅に住む高齢者をイチゴファーム事業に参加させ、ハウス栽培に従事することによって孤独解消や健康づくりをする事業で、NPO法人に委託します。

鞠子幸則議員　子ども手当は今年度からどう変わるのか。また需給申請していない方への周知は。

保健福祉課　3歳未満は1万5千円、3歳から小学校6年生までが1万円、第3子は1万5千円、中学生以上は1万円となっています。

6月以降は所得制限が実施されます。まだ申請していない方には再度通知します。

今年はどうなる　子ども手当

鈴木高行議員　被災者の健康支援はどのようにするのか。

保健福祉課　平成23年に実施したデータを基にして、民間アパートや仮設住宅に住んでいる方々を訪問して健康調査や心のケアをします。

鞠子幸則議員　仮設住宅の1人暮らしの方に、室内で押すと外部に光や音で異常を知らせる装置を設置しては。

保健福祉課　仮設住宅は隣の人を知らないことなど体制的に難しい所があります。今後担当課と協議します。

島田金一議員　行政区の集会所は合併浄化槽設置補助対象になるのか。

上下水道課　この事業はあくまでも個人住宅への補助なので、集会所は対象になりません。

産業観光のまちづくり

主な使い道

- 亘理町いちご団地造成事業費　154億円
- 農業用機械施設整備事業費　9億1,900万円
- 公共下水道事業特別会計繰出金　5億8,100万円
- わたり温泉鳥の海特別会計繰出金　8,970万円

鞠子幸則議員　わたりイチゴ団地事業費、総額154億円となっているが復興交付金、第1次配分の事業費はどうなっているのか。交付金が出なければ、事業ができないのではと農家の方々は心配している。どのように説明するのか。

産業観光課　一次配分では、測量設計費、施設整備費は決定しました。事業費につきましては後日国の方から連絡があります。結論が出たら123名の申し込みをされた方々に状況報告をします。

鞠子幸則議員　農業用機械施設整備事業の内容は。

産業観光課　復興交付金の中の事業です。震災で喪失した農業機械、穀物乾燥調整施設、イチゴ選果場の整備をします。

髙野孝一議員　わたり温泉鳥の海は平成26年度に再開予定だが、借入金の返済計画は立てているのか。

わたり温泉鳥の海　運営方法等については、しっかり計画を立て再開します。

鈴木高行議員　地域支え合い体制づくりの園芸療法について、NPO法人の委託料に人件費として1人当たり35万円を支払う積算をしているが法外ではないか。もう一度精査するべきでは。

産業観光課　この金額は保険料等も含まれており、35万円の積算をしています。実際運用するに当たり、再度調整し精査します。

高野進議員　田沢浄水場の放射能測定委託料について、水質の検査する委託料と思うが、測定はいつしているのか。また、放射性物質に対しての検査なので、経費は東京電力に請求すべきと思うが。

上下水道課　田沢浄水場の水質検査を週1回検査機関に委託してます。放射性物質の調査等にかかった経費については、東京電力に請求しています。

わたり温泉鳥の海　津波で破壊された一階フロント

浜吉田イチゴ団地整備予定地

3月定例会

3月定例会は、町長から提案された（条例改正案８件、補正予算案８件、平成24年度各種会計予算案10件、その他の議案６件）を原案どおり可決しました。
ここでは主な内容を紹介します。

復興まちづくり課など　４課を新設

佐藤正司議員　全国の自治体からマンパワーを借りるとしているが。

総務課　目標は25名ですが、現在20名確保できています。

佐藤アヤ議員　課が増えることで、住民へのサービス低下が懸念されるが。

総務課　サービスが低下しない前提条件で見直しをしました。

提案理由　復興に係る事務を早期に進めるための機構を改革する、課設置条例の一部を改正するものです。

（全員賛成で可決）

島田金一議員　復興まちづくり課と用地対策課は同一の課で復興計画を進めるべきではないか。

総務課　お互い連携をとって推進していきます。

提案理由を説明する齋藤町長

復興交付金基金条例を設置

提案理由　今後の各種復興事業に要する経費の財源に充てるため、東日本大震災復興交付金を原資として新たな基金を設置する条例を制定するものです。

（全員賛成で可決）

審議中の議会

東・南集会所を解体

提案理由　震災により使用できなくなった2集会場を削除するための改正です。

（全員賛成で可決）

島田金一議員　今後、集会所を設置する考えは。

企画財政課　考えはありませんが、各地区負担で話がまとまれば、設置の補助金や場所の提供など積極的に相談に応じます。

介護保険料20%アップを承認

提案理由　24年度から26年度までの第5期介護保険計画で、給付に対し保険料の不足が生じるため、介護保険運営の安定化を図るため介護保険料の改正を行うものです。

（賛成15人、反対2人）

鞠子幸則議員　保険料の月額基準額で1期から4期までの金額はいくらか。

保健福祉課　第1期が1325円、第2期が2650円、第3期が3450円、第4期が3850円です。今回の改正が平成24年度から平成26年度までで、4610円になります。

反対討論

鞠子幸則議員　介護保険制度が始まり10年間で基準月額が2650円から4610円と大幅な引き上げとなり、ますます高齢者を取り巻く環境は厳しくなる。こうした中での引き上げには反対します。

賛成討論

熊田芳子議員　介護認定者が増大し、給付費が非常に伸びている中で、介護保険制度を安定的に運営するために、今回の改正は必要であると認め、賛成します。

23年度一般会計補正予算主な事業

- 災害公営住宅整備事業費　1億6,102万円
- 農業基盤復旧復興整備計画策定事業費　9,028万円
- 公共土木施設災害復旧事業費　18億906万円
- 小学校災害復旧事業費　4,501万円
- 中学校災害復旧事業費　3,861万円

鞠子幸則議員　農業基盤復旧復興整備計画策定事業は、どこの地域で、事業期間は何年間か。また、農家の負担はどうなるのか。

産業観光課　荒浜北部・吉田東部1期、2期・吉田中部・吉田西部・吉田南部の6箇所で、計1200㌶を整備する計画で、期間は23年から27年度までで事業負担について、国からの交付金等を充当しながら、できるだけ農家の負担が少ないようにやっていきたいと考えています。

佐藤アヤ議員　荒浜に整備する災害公営住宅の駐車場の広さはどれぐらいで、一軒につき何台の駐車が可能になるのか。また集会所の整備について検討しているか。

震災復興推進課　面積は2300㎡程度と考えています。荒浜の災害公営住宅100戸を予定しており、駐車場の方は1世帯に対して1～2台位利用できるような形で検討しているところです。集会所は災害公営住宅の方々、地域の方々が共有して利用できるような環境を、整備計画で検討していきます。

被災した文教施設の早期復旧を

補正予算

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額	採決の結果
一般		419億9,847万円	△30億4,722万円	389億5,125万円	全員賛成で可決
国民健康保険		42億7,431万円	△4,369万円	42億3,061万円	全員賛成で可決
公共下水道		23億4,255万円	△7,762万円	22億6,493万円	全員賛成で可決
介護保険		23億1,169万円	2,825万円	23億3,994万円	全員賛成で可決
後期高齢者医療		2億8,418万円	28万円	2億8,446万円	全員賛成で可決
わたり温泉鳥の海		4億222万円	△83万円	4億139万円	全員賛成で可決
水道	資本的収入	9,734万円	2,489万円	1億2,223万円	全員賛成で可決
	資本的支出	3億6,933万円	20万円	3億6,953万円	全員賛成で可決

請願・陳情

内　　容	提　出　者	対　応
亙理町長瀞浜町内会第８班の土地を移転促進地域に指定する嘆願書	亙理町長瀞浜第８班 府中　勝博　　吉岡　照夫	配　布
防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める要請書	国土交通労働組合東北気象支部 伊藤　正則　　有賀　孝幸	配　布

臨　時　会

第4回

東日本大震災復興基金交付金等 14億1547万円を補正

正予算で対応します。

佐藤アヤ議員　体育館の設計委託料593万円を減額した理由と、町でできる実施設計と業者に委託する場合の違いは。

生涯学習課　今回の減額は、都市建設課で対応できることになったために減額するものです。また、工事が専門的な場合や管理業務も含むものの設計については外部委託します。

提案理由　国の第三次補正予算で追加された東日本大震災復興基金交付金事業を中心として、各種復興事業に増額補正するものです。

（全員賛成で可決）

鈴木高行議員　農業復興総合事業関連の園芸療法拠点事業で7800万円補正しているが、この事業が3月までには終わらない場合、繰越明許になるのか。

産業観光課　3月までの予算ですので、いずれも早めにつくり、来年度に向けていきます。

高野孝一議員　トラクター8台、田植え機13台を計上しているが、稲刈り機や乾燥機等の購入はいつか。

産業観光課　春作の機械を早急に購入し、秋の稲刈り時の機械は新たに補

教育委員会委員

平成24年1月31日をもって1名の委員が任期満了となるために**佐藤（さとう）　徳美（なるみ）氏**を再任することについて、全員賛成により同意しました。

第5回

わたり温泉鳥の海特別会計 土地建物貸付収入を復旧費用の財源に

提案理由　東日本大震災により営業ができない状況にあるわたり温泉鳥の海を、大林組を代表とするJV（共同企業体）の宿泊施設として貸出し、その貸付収入を復旧費用の財源として充てるものです。

（全員賛成で可決）

高野進議員　わたり温泉鳥の海の平成24年度、25年度の歳入はどうなるのか。

わたり温泉鳥の海　23年度の賃貸料は2回に分けて納入されます。3月中旬までに大林組より1年分で2億8600万円入ります。25年度分は24年度に納入されます。

第6回

わたり温泉鳥の海 工事請負契約

提案理由　県からガレキの2次処理を請け負った大林組を代表とするJVに、わたり温泉鳥の海を宿泊施設として利用させながら、改修工事を発注するものです。

（全員賛成で可決）

平成24年1月　第4回臨時会　議案等の審議結果

○：賛成　×：反対　議：議長　欠：欠席　退：退席　除：除斥　無記名投票：無記名投票
※議長は採決に加わりません。

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	1 鈴木洋子	2 高野孝一	3 熊田芳子	4 小野一雄	5 佐藤正司	6 安藤美重子	7 百井いと子	8 鈴木高行	9 鈴木邦昭	10 渡邉健一	11 四宮規彦	12 高野進	13 熊澤勇	14 佐藤アヤ	15 島田金一	16 鞠子幸則	17 佐藤實	18 安細隆之
議案第１号	平成23年度亙理町一般会計補正予算（第７号）	1.27	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
議案第２号	教育委員会委員の任命について（佐藤徳美氏を任命することについて）	1.27	17	16	16	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議

平成24年2月　第5回臨時会　議案等の審議結果

議案第３号	工事請負契約の締結について（平成23年度23都災第2955号荒浜排水区幹線管渠災害復旧工事）	2.10	15	14	14	0	原案可決	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
議案第４号	工事請負契約の締結について（平成23年度23都災第2959号荒浜排水区流入渠災害復旧工事）	2.10	15	14	14	0	原案可決	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
議案第５号	平成23年度わたり温泉鳥の海特別会計補正予算（第２号）	2.10	15	14	14	0	原案可決	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議

平成24年2月　第6回臨時会　議案等の審議結果

議案第６号	工事請負契約の締結について（平成23年度わたり温泉鳥の海災害復旧工事）	2.23	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第７号	平成23年度亙理町一般会計補正予算（第８号）	2.23	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

平成24年3月　第7回定例会　議案等の審議結果

議案第８号	亘理町課設置条例の一部を改正する条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第９号	亘理町防犯実働隊条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第10号	亘理町東日本大震災復興交付金基金条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第11号	亘理町集会所条例の一部を改正する条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第12号	亘理町町税条例の一部を改正する条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第13号	亘理町心身障害児通園施設条例の一部を改正する条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第14号	亘理町介護保険条例の一部を改正する条例	3.6	18	17	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	議
議案第15号	亘理町介護予防拠点施設に関する条例を廃止する条例	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第16号	平成23年度亘理町一般会計補正予算（第９号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第17号	平成23年度亘理町国民健康保険特別会計補正予算（第４号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第18号	平成23年度亘理町公共下水道事業特別会計補正予算（第５号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第19号	平成23年度亘理町介護保険特別会計補正予算（第３号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第20号	平成23年度わたり温泉鳥の海特別会計補正予算（第３号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第21号	平成23年度亘理町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第22号	平成23年度亘理町水道事業会計補正予算（第４号）	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第23号	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第24号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第25号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第26号	平成24年度亘理町一般会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第27号	平成24年度亘理町国民健康保険特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第28号	平成24年度亘理町奨学資金貸付特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第29号	平成24年度亘理町公共下水道事業特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第30号	平成24年度亘理町土地取得特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第31号	平成24年度亘理町介護保険特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第32号	平成24年度わたり温泉鳥の海特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第33号	平成24年度亘理町後期高齢者医療特別会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第34号	平成24年度亘理町工業用地等造成事業特別会計予算	3.19	18	17	16	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第35号	平成24年度亘理町水道事業会計予算	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第36号	区域外における公の施設の設置について	3.6	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第37号	物品購入契約の締結について（平成23年度亘理町農業用機械施設整備事業（トラクター））	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第38号	物品購入契約の締結について（平成23年度亘理町農業用機械施設整備事業（田植機））	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第39号	平成23年度亘理町一般会計補正予算（第10号）	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議発第１号	亘理町議会委員会条例の一部を改正する条例	3.19	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

一般質問

町政のここが聞きたい

鈴木邦昭議員 ……13P
・亘理町の放射能汚染は（他２題）

高野　進議員 ……14P
・復興交付金の年度をまたいでの使用は可能か（他１題）

鞠子幸則議員 ……15P
・イチゴ栽培　水道水利用の支援を（他１題）

佐藤アヤ議員 ……16P
・女性の声を防災会議に反映（他２題）

四宮規彦議員 ……17P
・亘理町の空間放射線量は安全か（他１題）

佐藤正司議員 ……18P
・「新生亘理」計画の取り組みは（他２題）

熊田芳子議員 ……19P
・東日本大震災　教訓をどういかすのか（他１題）

小野一雄議員 ……20P
・液状化被害の救済策は（他１題）

渡邉健一議員 ……21P
・農地・水・環境保全向上対策の効果は（他１題）

鈴木高行議員 ……22P
・障害者福祉　目線が障害者に向いていない（他２題）

島田金一議員 ……23P
・復興実施へ早急に踏み出せ（他１題）

安藤美重子議員 ……24P
・今後のまちづくり協議会の位置付けは（他２題）

髙野孝一議員 ……25P
・復興事業　子どもの目線も必要では（他２題）

鈴木洋子議員 ……26P
・風評被害　どのように対応するのか（他１題）

一般質問

鈴木邦昭議員

亘理町の放射能汚染は

更にきめ細やかな測定を予定

問　阿武隈川の泥及びスギ花粉に内包された放射性物質について。

町長　環境省の昨年12月の資料によれば、阿武隈川底の土は心配ないレベルです。スギ花粉による放射性物質の飛散については、林野庁が測定した福島県内や15の都県の数値に基づきますが人体に影響があるレベルではなく、一般のマスクで十分対応できると言われています。

問　通学路の放射線量の測定は行っているか。また、簡易型放射線測定器を町で購入し希望者へ貸し出す考えはないか。

町長　通学路の放射線測定は行っていませんでした。各学校すべての通学路の放射線測定は大変厳しい状況です。亘理町も汚染状況重点調査区域に指定されたので、亘理町全域をきめ細かな範囲で測定する予定です。測定器の貸し出しについては、機種、測定場所等によって大きな誤差が生じ不安要素となりますので今後検討します。

問　放射能に対するセミナーを開催してはどうか。

町長　専門知識を有する講師を招き、セミナーを開催し町民皆様の不安を解消できるよう努めます。

通学路の放射線量は安全か

防災無線の再点検は

デジタル化に向け整備する

問　町内の防災無線について、震災後聞こえないと言う地域の方の声がある。再点検は行っているか。

町長　現在、防災行政無線デジタル化に伴った予算措置を行っているので平成24年度中に復旧できるよう考えています。

防災無線の再点検を

問　復興計画に対し防災無線の設置場所は。

町長　素早く非難できるように防災無線を設置していきます。

仮設住宅の暑さ対策は

県に要望する

問　保育所等にミストシャワーを設置しては。

町長　ミストシャワーの効果や設置コスト等調査し検討していきます。

問　仮設住宅の鉄板屋根に遮熱塗料若しくは、断熱塗料による暑さ対策が必要ではないか。

町長　難しい問題でありますが、仮設住宅に関しては県の許可なくして住宅改造は出来ませんので、県に要望します。

一般質問

高野　進　議員

復興交付金

年度をまたいでの使用は可能か

可能である

問　基幹事業と効果促進事業の申告事業数と金額はいくらか。（第1回目）

町長　基幹事業は11事業で、促進事業は1事業です。申請額は197億3581万3千円です。

問　復興交付金の事業間流用と年度間調整（年度をまたぐ）は可能か。

町長　同一の省庁間は可能です。年度間については、基金造成により繰越手続きを行わず処理することが可能です。

問　町の災害復興基金の総額はいくらか。

町長　12億9741万円です。

問　使途は何か。

町長　交付金事業の動向を見据えながら、事業の取りまとめ等を行っている段階で、最終的には県の承認を受けたうえで、事業を実施することになります。

問　基金を震災復興に使い、通常事業には使わないということでよいか。

町長　そのとおりです。

わたり温泉鳥の海

営業再開のめどは

26年度を目標

わたり温泉鳥の海の今後の営業は

問　現在、借入金残高は約10億5千万円（町民1人当たり3万円超）、毎年元金を7千万円返済することになっている。借入金の返済計画を変更すべきと思うが。

町長　亘理町の水産、観光、町民の福祉増進という観点から建設をしました。10年目で借り換えを行う20年の償還で、返済計画に変更はありません。

現在の起債残高は、11億3872万です。平成24年度は「一般会計からの繰入金」を償還に充てます。

問　営業再開はいつごろをめどにしているか。

町長　平成26年度からの再開を目標としています。

問　再開のための修復費等の概算と資金調達の方法は。

町長　現時点では、修繕費の概算は約5億4千万円ほどです。震災ガレキの処理のための宿泊施設の貸出料を原資に、施設復旧に充当していきます。

問　営業再開後の経営全般計画を作成・提示してはどうか。マーケティング計画等の将来展望のある全体計画をいつまでに出されるか。

町長　現時点では、いつになるか明確には言えませんが、できるだけ早く検討していきます。

一般質問

鞠子幸則　議員

イチゴ栽培

水道水利用の支援を

料金、引き続き一般用で

問　イチゴ栽培への支援について、町として水道水利用による水確保にどう支援するのか。

町長　震災に伴い地下水の塩分濃度の低下がみられない傾向が、依然として続いています。塩分濃度が高いということで、平成23年度は、緊急対策として水道水の利用に支援してきました。水道料金は、業務用の10㌧当たりの基本料金、2520円、超過料金、1㌧につき294円です。また、一般用は、10㌧当たりの基本料金、1780円、超過料金、1㌧につき231円です。23年度は、一般用で対応してきました。24年度も一般用を適用します。また、24年度は、パイロットへの水の送水機場の管理が、吉田浜農地管理組合から返還されたことに伴い、町が直接管理することになりました。イチゴ部会と協議し、送水機場の貯水池の水を活用できるようになります。

イチゴ農家への水道水利用支援を

介護保険

訪問時間の短縮　どう対応

利用者の要望を聞いて対応する

問　生活援助の訪問介護の基本的な提供時間が、30分以上60分未満から45分未満に短縮される。サービス低下をどう防ぐのか。

町長　利用者に対しては、担当ケアマネージャーに、今どのようなことで困っているか、これからどのような生活を希望するのかなど再度話し合いを持ち、それに基づいて、介護サービスだけでなく、町の高齢者福祉サービス、民間や地域の福祉活動などを組み合わせ、利用者の希望に応じた適切な支援を行っていきます。

一般質問

佐藤アヤ議員

女性の声を防災会議に

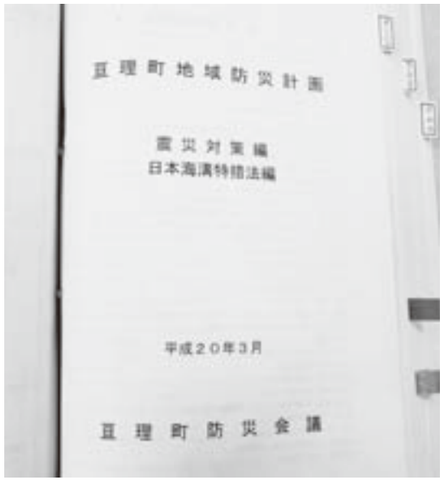
今後、積極的に登用

問　本町では、25年度までに地域防災計画の見直しを図るが、今後は女性の意見も防災体制に反映させるべきと考える。防災会議への女性参画について町の考えを伺う。

町長　地域防災計画の策定及び見直しの際には、亘理町防災会議を開催し、審議してきました。これまで委員の中に女性は入っていませんでしたが、今後は女性の方々にも防災会議に参加していただきたいと思います。

再質問　防災会議に女性を何人登用するのか。

町長　防災会議の規定を見直し、全体の3分の1、あるいは4分の1程度を女性の方々にと考えています。



防災計画の見直しを

24時間対応の定期巡回サービスは

複合的なサービスの提供で対応

問　介護保険制度改正に向けた本町の取り組みについて伺う。24時間対応の定期巡回、随時対応介護サービスについては、どのように対応するのか。

町長　本町では、国で奨励する地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みとして、通所・訪問・宿泊を一元的にする小規模多機能型居宅介護事業所を第5期介護保険計画に盛り込みました。設置後は医療ニーズの高い方の対応を含めて、訪問介護と組み合わせた複合的なサービスの提供を行っていきます。

問　地域支援事業の拠点である地域包括支援センターの人員体制や機能強化について伺う。

町長　現在は11名で、高齢者の総合的な相談や支援にあたっています。今後、行政組織の再編により高齢者支援班との連携をさらに強め、適切に人員を配置します。また職員の研修を行い、資質向上に努めます。

問　町民への周知について伺う。

町長　町の広報やFMあおぞら等を利用したり、今後行うアンケートの中でも対応し、周知徹底を図っていきたいと思います。

ジェネリック医薬品の促進は

24年度から年2回実施

問　ジェネリック医薬品の促進通知サービスの導入について、本町の取り組みはどうか。

町長　本町では、送付月は検討中ですが、24年度から年2回実施します。積極的に差額通知を活用し、ジェネリック医薬品の利用促進を図りながら医療費の抑制に努めます。

一般質問

四宮規彦議員

亘理町の空間放射線量は安全か

安心できる地域と考えている

問　原発事故前の県内の放射線量は一時間当たりいくらか。

総務課長　0.03～0.04マイクロシーベルトです。

問　私たちの線量の許容値1ミリシーベルトの1時間当たりの換算値と、その算出根拠は何か。

総務課長　0.19マイクロシーベルト位になります。この値は文部科学省の計算式によって、算出した値です。

問　0.19マイクロシーベルトと言う数字が空間線量の一つの目安となりますが、私たちは食物によっても体内に放射線が入る。私の試算では100ベクレルのホウレン草を100グラム調理し、食べれば体内には最大0.13マイクロシーベルトの放射線が入る事になる。またこの数値は調理方法等によって減少する。

そこで亘理町の放射線に対する考え方は何か伺う。

総務課長　私達に影響する放射線量を総合的に考えた結果、一地点を除き隣接地域と比較して、心配のない地域であると考えています。また今後ともしっかり対応します。

町長　空間放射線量が0.08～0.17マイクロシーベルトとなっており、国の基準値以下であるので現時点において心配のないレベルであると考えています。

調理方法によっても放射線量は変わる

児童生徒の現況と学校の現地復旧は

早期の復旧・復興に努めたい

問　被災した児童の転居転出の状況は。

教育長　4校の児童生徒数については仮設住宅が288人、町内のアパート等に57人、町外のアパートに43人、自宅在住者は270人です。（2月現在）

問　学校周辺の環境整備はどう進めるのか。

教育長　生命財産を守るための防潮堤、防潮林、避難道路、嵩上げ道路、避難場所（ビル）としての学校の役割等も考慮して進めていきます。なお防災担当教員の配置、地域の行事等にも共催という形で参画し住みやすい環境作りに取り組んでいきます。

一般質問

佐藤正司議員

「新生亘理」計画の取り組みは

新たなまちづくりデザインを示す

問　まちづくり（グランドデザイン）の方向性の早期提示は。

町長　被害が甚大であった沿岸部地域の復興まちづくりは、集団移転等を踏まえた新たなまちづくりを地域の皆様と話し合いながら検討を進めています。

再質問　岩沼市は石川東京大学院教授にグランドデザインプランナーを依頼し、具体的なまちづくりに取り組んでいる。亘理町も依頼しては。

町長　専門的な方々のグランドデザインが必要と思っています。震災復興会議委員長の大村虔一（けんいち）元宮城大学副学長に依頼を考えています。

グランドデザインの早期提示を

集団移転の整備は

対象区域の合意形成で団地造成

問　自立再建、集団移転住宅と復興災害公営住宅の整備は。

町長　被災者は原則として自立再建になります。

住宅再建の資金確保が困難な方には、災害公営住宅の入居になります。現在荒浜地区に100戸分を整備し、26年の入居を目指しています。また亘理、吉田地区は用地を確保次第整備します。集団移転も、移転対象区域の方々と合意形成が整い次第、団地造成を進めます。

再質問　土地区画整理は合意形成が問題になる荒浜小学校中心のまちづくりを考えた場合、行政区単位でのミニ区画整理でまちづくりを考えては。

町長　区画整理事業は100％の合意形成がないと進展しないので、ミニ的区画整理も念頭に、住民説明会や個別面談等で十分掌握して進めていきたい。

かさ上げに対する町独自の支援は

上限100万円で助成

問　被災者のかさ上げ等に対する町の独自支援は。

町長　宅地の地盤基礎のかさ上げや建物高床式構造に要する経費の一部として上限100万円の助成を実施します。

問　用排水路の排水障害解消は。

町長　鳥の海湾内に5箇所の排水機場があり、現在7割が回復しています。大雨時には国土交通省の排水ポンプ車を要請し、2時災害が起きないように進めます。

一般質問

熊田芳子議員

東日本大震災

教訓をどう活かすのか

防災計画の中で取り組む

問　大きな地震が来たら直ちに津波を想定し、高台に逃げることの必要性を広く周知すべきであると思うが。

町長　今回の大震災を教訓として、避難経路や高台へ、迅速かつ安全に避難を遂行できるような仕組みを構築します。

問　三陸では「津波てんでんこ」を教訓としているが、本町ではどのような考えか。

町長　避難所から再度、家に戻って津波に巻き込まれて亡くなったケースが多く見られることから、今後亘理町防災計画の中に、そういった言葉を盛り込んでいきたいと考えています。

問　和歌山県に語り継がれている「稲むらの火」は、1人の地主が大切な稲わらを燃やし、全ての町民を高台に避難させ、命を救ったという実話であるが、児童・生徒の防災教育に取り入れてはどうか。

教育長　今回の大震災により、町内の各学校では津波注意報が出たら、児童・生徒の引き渡しはしないなど、防災マニュアルを一部改正したり、見直しを行っています。また「稲むらの火」は、今年度の小学5年生の社会科で、取り上げています。今後もこの「稲むらの火」を大いに参考として、今後の防災教育に活かしていきます。

子ども達に徹底した防災教育を

震災関連死の予防は

一次避難場所の確保

問　宮城県内では、震災関連死の申請が721件あり、409件が認定された。本町でも27件審査し、13件を認定しているが、今後1人も犠牲者を出さないためにどう予防するのか。

町長　津波シミュレーションから予測される津波到達時間を考えた上で、短時間で安全に避難できる経路やビルのような一時的な避難場所の確保を図り、犠牲者を出さないような取り組みを構築していきます。

一般質問

小野一雄議員

液状化被害の救済策は

補助事業・生活再建支援制度の活用で

問　浸水区域外の浄化槽など、液状化被害に対する救済策はないのか。

町長　補修による復旧が見込めない場合は再度浄化槽を設置することになります。その費用については合併処理浄化槽設置整備事業による補助事業の対象になります。

また、修理可能な浄化槽については住宅の応急修理制度並びに生活再建支援制度の活用になります。

問　ブロック塀などの救済策は。

町長　児童生徒の通学路の安全を確保するため、小学校、中学校周辺の危険ブロックの撤去を国庫補助事業で実施しており、個人負担はありません。

私道の整備について

寄附申請で対応

浄化槽の液状化被害　長瀞字砂取場付近

問　長瀞浜新小橋地区の集落私道の整備はなぜ遅れているのか。

町長　私道の復旧は原則として地権者の皆様に復旧していただくのが原則ですが、一定の条件を満たす私道については、300万円を上限として補修に必要な工事費の2分の1の補助制度があります。

問　整備補助制度の条件を満たしている私道を、公道にするにはどのような条件が必要なのか。

都市建設課長　新小橋の場所は県道から入り県道に抜ける私道になるので町の方に寄附申請をしていただければ引き受けることはできます。ただし、今回の被災した部分については、1度地権者の皆さんでこの補助金制度を使って補修してからになります。

早急に私道の整備を

一般質問

渡邉健一議員

農地・水・環境保全向上対策の効果は

農家・非農家8万4千人参加

問　町では農地・水・環境保全向上対策費が平成19年度から平成23年度まで合計6627万3千円になっているが、この事業によってどのような効果があったのか。

町長　町全域を活動区域としまして、6つの保全隊が水路の泥上げ、道路の砂利敷、道路水路の草刈り、点検による施設の維持補修等の農業の基盤となる活動から、清掃や植栽等の環境向上活動として幅広く5年間の活動で、農業者・非農業者合わせて8万4千人が参加し、地域のコミュニティー活動や環境保全にご尽力をいただき、効果があったものと考えています。

問　農地・水・環境保全向上対策の課題は。

町長　事業そのものについては、農業者の減少や高齢化が進んでいること。地域の活動として取り組まなければならない重要な事業であることを、地域のみなさんに認識してもらうこと。そしてこの事業に積極的に参加していただくということが課題です。この事業を今後も継続していかなければならないということで、内容についても当初の農林水産省、県との協議の中で5年間ということですが、新たに平成24年度から5カ年間継続されるということで、これからも住民相互のコミュニケーションを図れる場ということで、有効な事業であると考えています。

農地・水・環境保全対策による環境美化活動

りんご農家へイノシシ対策の補助は

電気柵の設置費用の2分の1を補助する

問　吉田のりんご農家の方が、果樹園に電流線を回して、イノシシ進入防止対策を行っていたが、町では何らかの補助をしているのか。または考えているのか。

町長　21年度からイノシシ被害防止対策事業として、電流柵の2分の1を設置農家に補助し、総額は23年度まで248万円ほど補助しています。24年度につきましては80万円を予算計上しています。

イノシシ対策補助金を

町政のここが聞きたい

一般質問　鈴木高行議員

障害者福祉

目線が障害者に向いていない

障害福祉計画に基づき対応

問　町内には約1500人の障がいを持つ方々がいる。障がいの程度の差はあっても、生活に不自由を感じているし、社会の支援を必要としている。

今年の施政方針で障害福祉事業について一言も触れていないのは、目線が障害者対策に向いていないのではないか。障害者本人も家族も、自ら支援や対応について言えない。

町では障害福祉計画を作成して対応する方針になっているが、計画の進捗状況はどうなっているのか伺う。

町長　施政方針に障害者福祉の項目がなかったことについては遺憾でありました。障がいのある方も同じ町民であります。今後も障害福祉計画に基づいた対策を立て、対応していきます。

小規模授産施設（ほのぼの園）

重点施策に居住系サービスを

事業者を誘致し、生活環境の改善

問　障害者の生活環境の改善として、ケアホーム（協同生活介護）、グループホーム（協同生活援助）、入所支援施設等、居住系のサービス事業を重点施策として推進するべきではないか。

町長　地域における障害者と家族の生活環境や社会環境の改善が重要であり、町内に居住系のサービス施設の必要性を感じています。早くこのような事業を運営する法人等を誘致して、障害者が地域で安全に安心して自立した生活ができる環境を整えたいし、町民の方々のご理解ある支援をお願いしたい。

保育所再建

地域の声を反映すべきでは

意向調査を実施し、判断

問　今回の災害で破壊された吉田保育所・荒浜保育所を再建する場合、今後の要保育児童の所在地や保護者の意向、地域の声を聴き、保育所の再建に反映させる考えはないか伺う。

町長　将来のまちづくりや生業を考えた場合、現施設の周辺に整備することがベターと考えている。

問　吉田保育所の再建計画位置（長静小の隣り）は、災害後の居住形態からして、生業としての地域になるとは考えられない。保護者の送迎の利便性や子どもの安全・安心、住居形態の密度等、今後のまちづくりを考えた場合、保育所の再建位置を変更したほうがよいのではないか。

町長　今後、保護者等の意向調査を実施して、その数値によって判断します。

吉田西児童館に間借りしている吉田保育所

一般質問　島田金一議員

早急に土地区画整理事業を

町民との信頼関係を重視

問　阿武隈川の堤防と県道の測量が始まる。用地の買収が実施されるようだが、残地利用、土地整理事業の計画の考えは。

町長　まず、測量を行って詳細設計ができないと計画ができません。

問　県道、都市計画道路と荒浜地区に2本の避難道路が計画されている。これらを利用して災害土地区画整理事業を考えては。

町長　土地区画整理事業として、荒浜小学校前の道路と、阿武隈川沿いの県道を中心とした町並み形成については現時点では考えていません。

阿武隈川沿いの復旧工事に伴い、事業の影響を受ける住民の方がいれば、新たな土地利用を検討します。

コンパクトシティ構想の考えは

住民の合意形成を優先する

問　復興しても町並み形成ができない可能性がある。小学校や、払い下げが可能な戸建て災害住宅を中心としたコンパクトな町並みをつくっては。

町長　将来のコミュニティづくりの観点から住民同士の合意形成が必要です。説明会、個別面談の際にはぜひ出席して、住民の意向を示していただきたいと考えています。

問　合意形成が難しい場合のモデル地区。例えば3丁目・4丁目を指定して、堤防、県道が完成予定の平成27年度には住宅が建設できる区画にする考えは。

町長　町の指導ではなく、地域の方が自ら考えて、提案していくことに対しては、積極的に支援していきます。

問　仮称亘理町復興対策会議を設けて、都市計画等の専門家を呼んでは。

町長　復興対策会議は町民を中心に組織したいと考えています。専門家としては、復興会議で議長を務めた元宮城大学副学長大村虔一（けんいち）さんをアドバイザーに考えています。

荒浜の復興モデルは

町政のここが聞きたい

一般質問

安藤 美重子 議員

まちづくり協議会の位置付けは

地域の魅力や課題に取り組む

問 現在、5地区にまちづくり協議会が設立され活動をしている。町は、どんな位置付けで支援を行うのか、また将来の構想を伺う。

町長 これからの人口減少に伴う高齢化や人材の担い手不足等、地域の課題把握や情報の共有化を行い、その解決に地域協働で取り組むための組織と位置付けしています。

将来構想は公民館等の指定管理制度の活用や、業務委託等を視野に入れながら地域の魅力や課題について協議し、必要な取り組みを明確にすることで地域協働のまちづくりが推進されると考えます。

吉田西部地区まちづくり協議会事務所

再質問 予算の確保は。

町長 今は、補助事業を活用し、その後は町単独で予算付けをします。

再質問 町民の理解と協力が必要と思うが。

町長 公民館事業に協議会のお手伝いをいただくことで地元の方々に周知を図っていきます。

再質問 各協議会で独自の活動も行うのか。

町長 町として画一的な事業より、その地域にあったやり方で取り組んでいただきたいと考えています。

地震見舞金を出しては

考えていない

問 東日本大震災で町では全町民が被災を受けて、全国からは支援物資や義援金が届いた。被害の大小にかかわらず、見舞金とか支援の品を全世帯に出してはどうか伺う。

町長 町では、全世帯に見舞金を支給することは考えていません。

災害時備蓄品を公会堂にも

行政区長と協議

問 災害時の毛布や飲料水等の備蓄品を公会堂や集会所にも配付してはどうか。また、備蓄品を置くことで防災意識を高める具体的な取り組みになると思うが。

町長 倉庫的なスペースがあるかどうかの問題もありますので、行政区長と協議をしなければなりませんが、今回の震災を踏まえて備蓄は重要な課題となっていますので検討していきます。

一般質問

高野 孝一 議員

子どもの目線も必要では

直接携わる機会をつくりたい

復興事業

問 10年間の復興事業の中で、児童・生徒の意見、思いを吸い上げ、まちづくりに参画させるべきと考えるが。

教育長 昨年11月「亘理未来発表」があり、子どもの目線からの大変すばらしい意見が多々ありました。復興事業に子どもの意見を取り入れる機会があれば反映させていきます。

問 町長は発表会の挨拶の中で「亘理町の次代を担い、まちづくりの主役は青少年と位置づけ、提言を参考として復興計画に反映させたい」と言っている。災害後ボランティア活動をしていた子どもたちも多くいたし、復興計画の意見を集約するだけではなく、例えば防潮林の苗を育てるプロジェクトに参画できるのではないか。

教育長 いろいろな場を通して学校に話をして、子どもたちが直接携わる機会をつくっていきます。

吉田浜海岸に整備されたガレキ２次処理場（４月稼働）

地元雇用２００名の募集は

広報誌に掲載も検討

問 ガレキ処理の地元従業員採用の現状は。

町民生活課長 下請けの会社から32名を募集したいと話があり、広報わたり２月号に掲載しました。４月以降は掲載の依頼はありません。

再質問 当初から地元雇用２００人と説明を受けている。広報誌に募集掲載をすべきではないか。

町長 仮設住宅にＪＶの方からポスティングするよう検討します。

再質問 借り上げアパートに入居している方はどうするのか。

町長 ホームページでの発信しかないと思います。

再質問 借り上げアパート入居者に募集掲載の広報誌を送付すれば済むことではないか。

町長 そういう方法も検討します。

リスクが伴う決断の訳は

亘理は安全と言えるよう

問 環境省から「汚染状況重点調査地域」の指定を受託し、地方紙１面にも掲載された。その事により、町全体のイメージダウンにもつながり、作物の風評被害のリスクも考えられる中で、決断した考えを伺う。

町長 国・県の指導のもと、放射線量を測定、その結果に基づき対策を実施するため、必要と判断、指定を受けました。

風評被害の心配も考えられますが、放射能測定データーの情報公開をし、自信を持って「亘理町は安全」と言えるよう、不安材料を解消する努力をします。

一般質問

鈴木洋子議員

吉田中

通学路を一方通行に

亘理署と協議します

問　宮前仮設住宅から吉田中学校への通学路を拡張する計画はあるか。

町長　拡張するには用地買収、地権者の同意や工事期間もありますので、狭いながらも白線を引き、対応しました。

再質問　吉田中学校への通学路に白線が引かれたため、自転車路が狭くなり、危険になっている。朝の時間帯を一方通行にすることはできないか。

都市建設課長　一方通行については亘理警察署と協議します。

通学路の安全確保を

風評被害

どのように対応するのか

4月に放射能対策室を設置

問　放射能対策について、亘理町は県内9番目に汚染状況重点調査地域に追加指定された。健康を最優先にする町の考え方は理解できるが、心配なのは風評被害であり、どう対応していくのか。

町長　空間放射線量調査を基に、除染すべき区域を特定します。風評被害にも対応します。

再質問　町民は不安と恐怖にかられている。正しい知識をどうやって町民に理解させていくのか。

町長　風評被害は早く取り払わねばなりません。町には四月に放射能対策室ができます。町民の方にまず説明をしていきます。

再質問　丸森では内部被爆検査を実施した。亘理町でも実施する考えはないか。

総務課長　環境省と県の除染チームと相談します。現段階では、お答えしかねます。

新設された放射能対策室

調査報告と町への提言

委員会調査

総務

町民乗合自動車「さざんか号」について

総務常任委員会では昨年から今年にかけて、「さざんか号」の運行状況や運行時間、停留所の整備等について調査をしました。

委員会意見として、東日本大震災後、町民の生活交通のニーズは大きく変化している。利用者の利便性を考慮して、朝・夕はＪＲ常磐線の亘理駅と逢隈駅を中心とした運行を図る。日中は乗合自動車のデマンド化を図り、効率性の向上に努める。

また、亘理駅のバス停については風除室を設置するとともに、巡回経路図を入れる等、利用者の目線に沿った配慮が必要であるとの調査報告を町に提出しました。

亘理駅前乗降車場

今後の亘理について議会を傍聴してみませんか!!

「休日議会開催」のお知らせ

仕事の関係等で議会を傍聴できない住民の方々に、議員と執行部との議論のやり取りをじかに見ていただくため「休日議会」を開催します。議会に対する関心と認識を高めてもらい「開かれた議会」を目指します。

●６月定例会の開催予定日

平成24年６月13日（水）～６月18日（月）
※休日議会の一般質問は６月16日（土）、６月17日（日）を予定しています。

●開始予定時間（休日議会）

午前９時から

●開催場所

亘理町役場西会議室（予定）

詳しくは、町のホームページで、お知らせします。
亘理町役場議会事務局　ＴＥＬ：0223－34－0506
ＵＲＬ：http://www.town.watari.miyagi.jp/

私もひとこと

人との関り 今むかし

羽角（はかく） 澄夫（すみお） さん
（逢隈下郡 59歳）

あの悪夢から一年が過ぎて、元通りの生活が未だに戻らない方々には御心痛の事と思います。「絆」という文字が出てこない日がないほど、毎日語られています。

私は、地区の農家関係で組織される実行組合長です。諸先輩の方々が累々と築いてきたこの組織も今となっては各家庭において高齢化、後継者不足等々で、地区の農業に関係する諸行事に参加できない組合員も出てきており、将来が危惧されています。

以前、私は仕事の関係で家にいなくて、その間家族は地区の方々にお世話になりました。そしてこの大役を要請されたときに、今までの地区に対する恩返しと心に決めて現在に至っています。

農地の復興、ＴＰＰ等と農業の将来は安泰ではないですが、農家としてだけでなく、昔からの仲間として、それこそ「絆」を深めていきたいものです。

下郡実行組合の方々

浜吉田駅早期復旧に向けて

苫米地（とまべち） 花菜（かな） さん
（浜吉田西 18歳）

浜吉田駅を利用する学生として発言させていただきます。

浜吉田駅の早期復旧に関して「代行バス発着のための浜吉田駅前広場の整備」が問題となっているようですが、整備にはとても時間がかかると思います。そこで、浜吉田駅前広場整備後も代行バスを亘理駅まで走らせるように、町からＪＲへ浜吉田～亘理間のバス運行を委託できないでしょうか。

しかし、そのような形で浜吉田駅が早期復旧すれば、代行バスは国道からそれて浜吉田駅まで来なくてもすみます。

山下以南へのアクセスも時間短縮となり、浜吉田駅利用者だけでなく、常磐線代行バス利用者にとっても利益な復旧になると思います。

一日も早い常磐線全線の再開を願います。

浜吉田駅前広場

編集後記

まげでたまっか!!頑張ろうわたり!!冬は必ず春となる!!

東日本大震災から一年が過ぎ、亘理町では多くの方々の励ましや、各方面のボランティアの方々からご支援をいただき、復旧・復興へ取り組んできました。

まだ多くの課題がありますが、町民の皆さまと共に力を合わせ、「新生亘理」の再建へ取り組んでいきます。

また、嬉しいことに、亘理町の新成人者は432名が誕生しております。町の未来を担う若い力で、本町の復興への活躍に期待します。

（K・S）

議会広報調査特別委員会

委員長 渡邉 健一
副委員長 鈴木 邦昭
委員 鈴木 洋子
髙野 孝一
鈴木 高行
四宮 規彦

・発行 亘理町議会 〒九八九―二三九三 宮城県亘理郡亘理町字下小路七―四 ☎〇二三―三四―〇五〇六
・編集 亘理町議会広報調査特別委員会 ・年四回発行 ・印刷 株式会社東北プリント

GREEN PRINTING JFPI P-B10021
RICE INK® この広報誌は、米ぬか油を使用した環境配慮型「ライスインキ」で印刷しています。

議会に関する詳しい内容は亘理町のホームページからもご覧になれます。
http://www.town.watari.miyagi.jp/